

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年1月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104068
法人名	有限会社 健真
事業所名	グループホーム すずらんの家
所在地	鹿児島県鹿児島市平川町1547番地 (電話) 099-284-2655
自己評価作成日	令和5年12月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年12月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・午前中は、塗り絵、壁紙作りなど午後はレクリエーション活動でDVDを使用し軽体操で体力づくり(毎日)。日替わりで風船バレー、回想法、合唱、脳トレプリントで脳の活性化を図ったりと工夫している。
- ・洗濯物たたみを利用者と一緒に共同で行っている。
- ・季節(月事)に応じた事業者内の掲示物や飾り物を利用者と職員で共同で行っている。
- ・天気の良い日など玄関外で自然を眺めて季節を感じて頂いている。
- ・玄関先の落ち葉掃きや調理手伝い、洗濯物干しなど職員と一緒にしてもらう事もある。(入所者の体調にあわせて、本人確認の上で)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は同法人の通所事業所と道路を隔てた場所に立地し、コロナ禍での運営推進会議は通所事業所の2階で開催できた。事業所周辺が散歩コースとなっていて多くの方と挨拶交流している。
- ・コロナ感染症が5類移行後、地域行事の六月灯や小学校の運動会に参加し地域住民と交流している。家族との面会も主に窓越し面会から状況に応じてソーシャルディスタンスを踏まえて玄関での対面面会を行い、関係性が途切れない支援をしている。
- ・レクリエーションで職員考案の軽体操を取り入れての体力作りや毎月の作品作りで脳の活性化に繋げる等の工夫をしている。
- ・屋外での日光浴や外気浴、近くの動物公園等へのドライブで楽しんでいる。
- ・家庭的な雰囲気の中で職員は利用者との関わりを大事にし、個々人に応じてコミュニケーションを図っている。代表者や管理者は日々の声かけや意見、提案等を聞き、働きやすい環境作りである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常時職員が理念を意識するようにホール、事務所に提示し、利用者と共有できるよう心掛けています。職員会議の場でも理念についての話も行っています。	理念はパンフレットや重要事項説明書に掲載し、玄関・ホールに掲示している。毎月、会議でケア実践を振り返り、次に活かせるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	本年度は5月より新型コロナウイルスが5類になり少しずつではありますが、地域の催しに参加する機会を設けるようにしています。(マスク着用)	町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。地域の運動会や六月灯にも参加している。近隣公園への散歩や道路を隔てた関連施設との挨拶交流している。地域から旬野菜の差し入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や地域行事の参加等を通じて認知症の人の理解をして頂けるように努めていますが、感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)予防もかみしながら行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に一度のペースで会議を行っており、地域包括支援センターより参加された方や家族代表者の方に意見を頂きながらサービス向上に生かしています。(感染症拡大予防の為少人数で開催しております)	会議は2ヶ月に1回、開催している。人数制限し、関連施設の部屋で入居者状況や事業所の現状を報告している。外出の要望など意見もあるが事業所の気持ちを伝え理解を得ている。町内会長や民生委員に報告し、行政にも資料を送付している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市担当者の方とは、書類関係等で話し合い、地域包括支援センター職員とは空き情報等で連絡を取り合って協力関係を築いております。運営推進会議にも出席頂けるよう連絡をとっています。</p>	<p>市担当者とは窓口に出向き書類提出や不明な点は相談したり、電話でも話している。生活保護担当者の訪問も有り、日頃から利用者状況を電話で報告する等情報共有している。介護相談員の受け入れもある。研修には対面での参加やユーチューブで参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>管理者、ケアマネジャー、施設長、職員全員で身体拘束廃止委員会を3カ月に一度のペースで開催し、勉強会を行っており職員全員が理解して拘束しないケアを行っています。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を3ヶ月毎に開催し、勉強会も資料を作製し、虐待の事例に基づいて学び、職員全員が理解して拘束しないケア実践に努めている。支援中の言葉遣いにも留意している。日中の玄関施錠はせず見守り支援を行い、外出希望時は利用者に寄り添い声かけや散歩支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>特に会議のみでなく、常々職員間で話し合っています。新型コロナウイルス5類となりましたが、ご家族に感染防止の為外出、外泊は自粛して頂いております。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>自立支援はもちろんの事、後見人制度については、社長、施設長勉強されています。また、職員会議の際に研修も行っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に具体的な説明をし、本人、家族と事前面談を行っています。その際にも説明をおこなっております。特に急変時対応を理解して頂くようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者に不満、苦情があった場合には管理者や職員は家族の方へ連絡し、家族の方の声及び意見を参考にし反映させています。苦情処理委員会を設け、玄関に意見箱を設置して投稿して頂くようにしています。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会時や電話で状況報告し意見を聞いている。2ヶ月に1回の便りに一筆書きし郵送報告する等、意見や要望を表せる機会を設けて意見を反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や業務時などで職員の意見や提案を聞くようにし、運営に反映しています。また必要に応じ、代表者や管理者から職員への意見の問いかけも行っています。	代表者や管理者は毎月職員会議や朝の申し送りで意見や提案を聞いている。日々の業務の中でも声かけし意見を言いやすい環境作りをしている。相談は管理者が聞き対応している。備品の購入や希望休もあり、職員間でフォローしあい働きやすい環境となっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の離職をなくするよう努めています。勤務状況もなるべく本人希望休みの聞き入れ、毎年少量ではあるが昇給も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内勉強会を行っています。職員会の時に毎回研修を実施しています。今年5月より新型コロナウイルスが5類に引き下げられ少しずつですが、外部研修にも参加するように検討しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者の方との話し合う機会があった時には、お互いの困難事例、その他を生部ようにしております。また、ネットでの検索で様々な意見を読み参考にしております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族と電話及び来所され相談がある場合にご本人より困った事、困っている事をよく聞き取り、不安な事を何かを受け止めるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>初回面談や入所後のご家族の来所時や電話等で困っている事に傾聴し、ご家族の不安を取り除くようにしております。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族がサービス利用で一番何を求めているかを本人、家族と十分な話し合いをし、その中から求めているものを見極め、様々なサービス利用（支援）を考慮しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員と一緒に調理の下ごしらえをしながら献立を考えてもらったり、季節の野菜や花をプランター栽培する際に栽培方法などを教えて頂いたりとお互いが協力しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の色々な思いを面会時にケアマネジャー、管理者、職員が聞き取りお互いの悩みを話し合いながら支援していきます。今年にはコロナが5類になりましたが、感染症防止の為電話での聞き取りを継続しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前、住んでいた地域を離れた人は電話、手紙、葉書等で交流を図るよう支援し、家族の協力を得られています。これまでの生活歴も家族及び本人より聞き取り全員で把握しています。	家族や知人の窓越し面会、状況に応じて玄関で間隔を置き、対面での面会を行っている。電話や手紙の取次ぎ支援や持参の携帯電話で自由に交流している。近くの動物公園にドライブに出かけたり、2ヶ月に1回訪問理美容や家族同伴の受診でドライブや外食に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	施設内での軽体操やレクリエーションの中でお互いに意思の疎通が取れ支え合っています。うまくコミュニケーションが取れない時は、職員がお互いの話を傾聴し、コミュニケーションが取れるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用停止していても、ご家族にはいつでも相談にのれる様、家族との関係は保っている。又、他施設等移動がある時も受け入れ施設と連絡を密にし話し合いもしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望、思いを聞き取り利用者本位のケアが出来るよう努めています。ケアマネ、管理者及び職員も聞き入れに同席希望意向を聞き入れています。聞き入れが困難な利用者は御家族よりお話を聞き入れています。	日常生活の中で思いや意向、行きたい所など聞いている。困難な場合は表情や態度の変化を生活歴を基に職員同士で意見交換し、家族にも相談して本人本意に検討し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をご本人、家族から聞き取り、職員全員で把握しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人、一日の過ごし方は、様々であり、その利用者にあった生活が出来るよう、アセスメントして把握しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議又は、スタッフカンファレンスを開催し、本人、家族にも同席して頂き意見を出し合い介護計画を作成しています。	日頃からスタッフカンファレンスで情報収集し、本人や家族の同席で担当者会議で意見交換し趣味など活かして介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月で行い、見直しもしている。状況変化時、その都度見直し現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者本位の言葉を用いた記録を行い、本人の思いに気付くよう職員間で情報を共有しながらも直しをしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族や本人の希望があれば、外泊・外食等の外出がありました。今年5月より5類に新型コロナウイルスが引き下げられましたが、感染症予防のため現在も家族には自粛をお願いしています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の催しものに少しずつではありますが、参加をするように努めています。その際には、マスク着用を義務付けています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の心身状態を考慮した医療機関を受診していきながら適切な医療を受けられるようにしていきます。医療機関の受診結果については、ご家族に電話や来所の際に口頭又は、文書での報告を行い、理解が得られるように努めていきます。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医で、4週に1回の往診がある。必要時も往診がある。協力医療機関とは24時間医療連携体制で緊急時はかかりつけ医の情報を得て受診支援している。専門の他科受診は 家族の同意を得て職員同伴している。受診結果は電話や来所時口頭又は文書で行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>主治医である敬愛クリニックに4週間に一度の往診をして頂き、馴染みの関係を築き看護職員、介護職員と日常の健康管理をしていきます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院された後にもカンファ等で出向き担当医師の説明を受けその情報をもらい、家族の希望に沿えるよう相談にのり、いつでも戻れるように連携しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者の心身状態を日頃より報告しており重度化した場合の対応については本人、家族、医療機関と話し合っている。また、家族に対して重度化になった場合の対応に即してアンケートにて回答をもらっています。また、重度化や終末期に向けた対応の指針を作成しています。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応の指針が有り入居時に説明している。入居時にアンケート調査し看取りはしない方針も説明している。日頃から健康状態を家族に報告し、重度化した場合は主治医から家族に状況と医療機関対応となる説明を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>感染症拡大予防の為外部よりの来所は自粛中。職員会での救急蘇生等の研修を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼間、夜間で想定し避難訓練を行っています。運営推進会議開催の中でも災害時には地域住民の方々の協力を得るように働きかけを行っています。非常用持ち出し袋（利用者9名分・職員用）を準備中。</p>	<p>年2回、昼夜間想定で火災の避難誘導訓練を消防署立会と自主訓練を実施している。避難場所が消防署指定で道路沿いにある動物公園の看板がある場所である。緊急連絡網は職員のみとなっている。備蓄は水・米・ビスケット・補助食品等の食料品を3日分と口腔清拭シートや簡易用トイレ等を準備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報に関する契約を家族及び職員と取り交わしています。誇りやプライバシーを損ねない声かけ等で対応しています。記録も適切な取り扱いに気を配っています</p>	<p>年4回、権利擁護・虐待・プライバシー・接遇マナー等について勉強会を開催している。入室時の声かけ、排泄時はチェック表を確認し声かけ誘導をしている。入浴時は寒暖差、転倒などに留意し安心して入浴できる環境作りをしている。衣類等は選択できるよう働きかけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>常に本人の好みや希望を問いかけ、本人の自己決定を重視しています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日常の流れに利用者を沿わせず、一人一人ペースで本人の望む生活を支援しています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>できうる限り自分好みの洋服が着れるよう、本人に問いかけて選んでもらっている。また、散髪時には希望の髪型に切ってもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>箸の並べや味見、お茶等、行っている。できない方には職員が手伝っている。また、各人の咀嚼に合わせた食事形態で提供している。</p>	<p>献立は旬の食材を取り入れて調理している。食形態も咀嚼に合わせて提供し代替食の提供もある。行事食や年越しそば・おせちも手作りで提供している。合同の誕生会では美味しく盛り付けをして、プレゼントやケーキカットする等、楽しめるよう工夫している。下ごしらえやつわ・筍の皮むき、お盆や台拭き等を職員と一緒にしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>お茶や水は常時飲めるように工夫し食事時は、毎食摂取量をチェックしている。水分補給に関して密に利用者とコミュニケーションをとり、そのたびに声掛けをし、水分補給しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食事後は歯ブラシを使用しての口腔ケアの自立支援及びポリデント等による義歯洗浄を週1回行っている。又、家族や個人で毎日希望の方がいらっしゃれば、毎日実施しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄時間の記録をしています。2～3時間トイレへ行かれない時には、声掛けをしています。又、車椅子使用の方は声かけ誘導をしています。個人の排泄に応じてリハビリパンツやオムツ使用としています。</p>	<p>排泄時間を記録し、排泄パターンに応じ、声かけ・誘導しトイレでの排泄支援をしている。ベット上でのおむつ交換で排便時陰部洗浄し清潔保持している。排泄用品は個々人に応じて対応し尿取りパットは尿量で大小使い分けている。夜間帯は尿取りパットのみ交換する等その人に応じて対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	野菜等、食物繊維の含有をとるようにし水分もこまめに取りるようにし水分量の記録もしています。また、軽体操、レクでからだを動かすようにして便秘による体調不良改善に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週2回の入浴とし、月金及び火土と入浴日を定めているが、失禁時、体調不良時を考慮しその時の利用者にあったタイミングで入浴できるよう努めています。	週2回午前中に入浴支援し1:1介助で入浴剤も使用し楽しんでいる。寒暖差や転倒に留意し安全に入浴できる環境を整えている。入浴拒否がある場合は声かけの工夫、職員交代で対応し足浴から始める等、工夫支援している。体調がすぐれない時や汚染時は全身清拭支援で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決まっているが、それぞれ好きな時間に居室に行かれ入眠されている。休息に関してもご自分の好きな時、休息されています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者が処方されている薬の服薬台帳を作成し、職員全員が理解し服薬支援を行っています。又、変化があった場合、主治医と連絡を取り合い服薬支援を仰いでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる方には洗濯物たたみ、調理の下ごしらえ、味見の確認をしてもらったりしている。。歌や踊り等その方々の生活歴、趣味を生かした生活を支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	令和5年5月より新型コロナウイルスが5類へ移行となりましたが、感染症予防の為、ご家族にも自粛を求めています。今年は夏が異常に気温が高く熱中症のリスクもあり外出がままなりませんでした。	年間計画を作成している。天気の良い日は近隣の散歩や屋外で日光浴や外気浴で気分転換している。近くの動物公園までドライブ支援し楽しんでいる。家族の協力で受診後にドライブして弁当を食べたり、買物支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在金銭管理のできる利用者がいらっしゃらないので、お金を所持している方はいないです。金銭管理のできる利用者がいらっしゃれば、個人の財布を持たれ家族同意の下で管理して頂きます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話をかけたい希望があれば、いつでも事務所よりかけていただきます。個人でも携帯電話持参されている方は、夜間話をされています。葉書や手紙、年賀状等も書いたり又、手紙、年賀状も相手も方より頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井からの採光や窓からの外の様子から今日の天気がわかり、山からの季節感も感じられます。横にはJRの線路があり電車の音が聞こえることで生活感も感じられます。ホーム内で生花や季節にあった装飾品を取り入れています。</p>	<p>排煙窓が2箇所有り採光も十分で時には布で覆い調整している。空気清浄機を設置し、換気もしている。ソファやテレビもありテーブルにはパーティションを設置し消毒し感染症予防対策している。壁には毎月季節の飾り物、貼り絵や利用者作品の塗り絵を掲示し、玄関には季節の装飾品や花を飾り、居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにあるソファに腰掛けられ仲良く話したりしていらっしやいます。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ダンスやベッドは備品ですが、他の物は本人の好みの物が持ち込まれダンス、ベッドの位置も家族と話し合いながら居心地がよいよう工夫されています。</p>	<p>居室はベット・ダンス・エアコンを設置し、寝具類は持ち込みである。引出しタイプの衣装ケース・本棚・筆記用具・ハンガーラック・時計・ぬいぐるみ・家族写真・ホームで作成したカレンダーが掛けられ、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>フローア前面に手摺を設置し、段差なくバリアフリーとなっています。トイレ、風呂場、浴槽にも手摺を設置しており自立できるように工夫しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input checked="" type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない